

茨城県かすみがうら市の総合事業について

策定調査

現況及び課題

- 鉄道は、市内に駅が無く、最寄り駅はJR常磐線神立駅（土浦市）があり、市外へのアクセスに重要な公共交通となっている。
- 市内を運行する民間バス路線は、千代田地区に5路線あり、土浦、石岡駅間が1路線、石岡駅へ1路線、土浦駅へ2路線、神立駅へ1路線となっている。
- 市では平成18年10月からノンステップバス2台を使い、コミュニティバスを運行しているが、利用者ニーズに十分な対応ができていないため、低利用にとどまっており、効率的な運行形態への転換を含めた見直しが必要とされている。
- 市では本年3月31日をもって霞ヶ浦地区を運行する民間バス路線が廃止されたことを受け、その暫定的な代替方策として、4月1日から同地区にて乗合タクシーの運行を開始した。

活性化の目標・方向性

- 既存の公共交通と連携を図りながら、将来的にも維持できる効率的で利便性の高い全市域を対象とした交通システムを構築していく。

実施する事業の内容

- JR常磐線、路線バス、コミュニティバス、乗り合いタクシー運行状況や利用実態を把握するため、公共交通利用者行動調査を実施する。
- 市民の交通ニーズを幅広く把握するためにアンケート調査・ヒアリング等を実施する。
- 当該地域の交通課題の把握と地域の目指す公共交通改善の目標等を検討する。
- 市民や来訪者などに使い易い公共交通ネットワーク形成に向けて、多様な公共交通機関の連携方策や公共交通活性化策とその効果等について検討する。
- 地域公共交通総合連携計画を策定する。